

被「令和8年熊本地震」被災地支援 被災地復興を支援する町職員を派遣

被災した熊本県宇土市の復旧を支援するため、町職員4人を現地に派遣しました。県と市町村の合同チーム員として8月31日からそれぞれ1週間程度、罹災証明書の発行や家屋等被害認定調査などを担当。派遣された職員は「今後も継続的な支援が必要となる」と声をそろえ、早期の復旧・復興を切に願っていました。



↑ 復旧業務に従事した職員下段⑤から田中克憲・吉村 慎一・小野 努・末永 康彦

現「グローバル人材育成海外研修事業」 地交流やホームステイで異文化体験

「グローバル人材育成海外研修」が8月19日から6日間行われ、町内の中学生8人がハワイへ渡米しました。将来の視野を広げるため、生徒たちは事前研修を経て現地校での交流やホームステイに挑戦。ウクレレ体験や歴史学習で異文化に触れた生徒たちは、9月27日の「ふくちのち」での報告会で成果を伝えました。



↑ 現地のブリガム・ヤング大学に通う日本人留学生カイさん⑤のガイドで交流。

↓ 上野焼のろくろや絵付け体験、折り紙ヒコーキゲーム、ガラポン抽選会などを実施。



北九州空港で賑わう福智町の特産フェア

福智町と日本航空（JAL）が連携した観光物産展が8月29日から2日間、北九州空港で開催されました。会場では、赤池梨やジェラートなどの特産品が販売されたほか、キッチンカーも出店。航空教室やクイズラリーなど、さまざまな催しで盛り上がりを見せ、2日間で約3千人が来場し、福智町の魅力を広く伝えました。

↓ 「ハザードマップ」利用の重要性や居住地域の防災情報の取得方法を案内。



全市場小学校「防災授業」 校生徒へ命守る防災行動を呼びかけ

KBC九州朝日放送局の長岡大雅アナウンサーを講師に招いた「防災授業」が、9月17日に市場小で開かれました。災害時の現場の様子や実際のニュース映像を紹介しながら「人間の力は自然の前に敵わないからこそ、命を守ることの大切さを知ってほしい」と語り、災害の恐ろしさと日頃の備えの重要性を訴えました。



↑ 九州中学生柔道対県練成会で2年連続引き分けだった因縁の相手を倒し、九州大会で見事初優勝。

地「楽しく知ろう!! 金田商店街 in 鉄板ベース」 域と商店街への理解深める体験学習

町の子どもたちが地域や商店街で働く大人やFIWC九州の大学生らと交流し、理解を深めながら職業を体験するイベント「金田商店街 in 鉄板ベース」が8月18日に開催されました。小学4～6年生7人と保護者が参加し、お好み焼きづくりやメニューの考案などを通して働くことや人と関わることの大切さを学びました。



↑ 「大人になっても帰ってこれる、帰ってきたい場所をつくる」職業体験型イベント。

↓ 生活道路での自動車の法定速度が30kmへ変更となったことを受け、注意喚起。



事「セーフティステーション活動」 事故「ナシ」を願って赤池梨で啓発

秋の全国交通安全運動を間近に控えた9月16日に、交通安全を訴える啓発活動がセブンイレブン赤池店の駐車場で行われました。道路交通法が9月1日から改正された今秋。田川警察署、交通安全推進協議会、町職員ら約20人が啓発物品を配布。町内を走行するドライバー約100人へ安全運転を呼びかけました。